

第 76 回国民体育大会岡山県予選会 2 日目

会期: 2021/6/27(日)

会場: 美咲町中央運動公園

2 回戦 10:26～

環太平洋大学 8 0 2 3 13

ブラザーズ 0 0 0 0 0

規定により 4 回コールドゲーム

環: 萩原(3 回) 土井(1 回) — 岩松

ブ: 今井 — 渡邊

二塁打: 安藝 谷口(以上環)

戦評

初回、相手投手の制球の乱れに乗り 5 安打を絡めて 8 得点。3 回には 9 番木之本のヒットから 4 四球で 2 点を追加して 10-0。4 回にも 3 点を追加して 13-0(規定により 4 回コールド)

決勝戦 13:47～

平林金属	1 0 0 1 1 0 0	3
環太平洋大学	0 1 1 0 0 0 0	2

平:松田(5回)小山(2回) — 山内

環:景山 — 近松

本塁打:松田、八角(以上平) 谷口(環)

二塁打:中村(環) 宇根(平)

戦評

迎えた決勝戦、初回先発の景山は2者連続三振と上々の滑り出しかと思われたが、現全日本代表の3番松田にセンターバックスクリーへ運ばれ1-0とリードを許す立ち上がり。

2回裏のIPUの攻撃は1死から7番松田、8番山本、9番木之本の3者連続の内野安打で満塁と攻め、1番井上が詰まりながらもライト前に4者連続安打がタイムリーとなり1-1の同点に追いつく。続く3回裏には2死から4番谷口が初球をレフトスタンドへソロホームランで2-1とリード。しかし、4回表平林金属5番八角にライトスタンドへホームランを打たれ2-2の同点。5回表2死から1番浜本(環大卒)にセンター前ヒット、続く2番宇根(環大卒)に1-1から左中間を破られ2-3と逆転。その後は6回から代わった小山から最終回到2安打で1死1.2塁とチャンスを広げたが内野ゴロダブルプレーで試合終了。

先発した景山は日本リーグトップを走るフルメンバーの平林金属から被安打5、2本被弾はしたが10奪三振の力投で3失点と好投。打線は国体という事もあり、ふるさと枠等でフルメンバーではなく、先発メンバー1.2年生6名で挑んだ決勝戦に8安打2得点と全日本クラスの投手を相手に善戦することが出来た事は自信になると思います。また、コロナ禍で無観客試合でしたが1点を争う好ゲームを岡山県ソフトボール協会からは高評価を得られました。